

(5)健康・福祉・平和・人権 平成29年3月末日現在

件名	要旨	市の考え方	受付日	回答日	担当部署
不妊治療費の助成について	平成28年1月から不妊治療のうち体外授精等にかかる助成金額が増額されましたが、自治体によっては人工授精も助成対象としているところがあります。不妊治療へのさらなる支援を求めます。	平成26年度より、枚方市特定不妊治療費用補助金交付事業として、体外受精及び顕微授精の治療法を対象に助成を行っており、平成28年1月20日からは初回申請の助成金額拡大や男性不妊治療費の助成など制度を拡充したところです。 助成内容のさらなる拡充については、対象となる治療法も含め、今後の市の検討課題とさせていただきます。	2016/4/26	2016/5/27	保健予防課
リフト付(福祉)バスの利用について	福祉バスは、なぜ、木曜日は利用できないのですか。様々な団体が平等に利用できるようにしていただけないでしょうか。	総合福祉センターへの送迎バスとして運行しているバスを、運行コース等により、空いている水曜日・金曜日・土曜日・日曜日に福祉バスとして利用していただいています。 (ただし月曜日は総合福祉センターが休館のため、運行はありません。)	2016/5/6	2016/5/9	障害福祉室
ラジオ体操用の拡声器の設置について	健康増進のため、公園や駅前広場等に拡声器を設置し、ラジオ体操の放送を流してください。	ラジオ体操は、気軽に取り組める運動で、健康づくりにつながるるとともに地域の方との交流の場になるものだと考えます。 しかしながら、公園や駅前の広場において、拡声器を設置し毎朝ラジオ体操を放送するという点については、音の問題や通行者の妨げとなるため、ラジオ体操用の拡声器を設置させていただくことはできない状況にあります。	2016/4/11	2016/6/16	広聴相談課 道路河川管理課 公園みどり推進室
高齢者のバス割引券について	高齢者のバス割引券は、なぜ市民税納税者には配られないのでしょうか。	高齢者外出支援カード購入券配付事業については、経済的事情で外出を控えがちとなる高齢者の外出を支援し、要介護状態への進行の防止を図ることを目的としておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。	2016/4/25	2016/6/30	長寿社会推進室
地域包括支援センターの運営体制について	仕事帰りなどに地域包括支援センターに相談に行きたいと思っても、平日の9時～17時頃までしか開いていないので利用しづらいのが現状です。また、緊急時でも対応いただけるよう連絡先を明示するなど柔軟な対応をお願いします。	地域包括支援センターの開所日・開所時間については、市役所と同様、月曜日から金曜日の午前9時から午後5時30分となっております。相談の受付については、来所での相談だけでなく、電話での相談にも対応しています。閉所後や土・日については、留守番電話等に伝言を残していただければ、後日地域包括支援センターから連絡を行います。 緊急時の対応については、まずは110番、119番へ通報をしていただきたいと思いますと考えております。	2016/6/1	2016/6/2	長寿社会推進室
障害者を対象とした職員採用について	障害の種別に関わりなく職員募集をしてほしいです。非常勤職員の募集にも障害者枠があれば良いと思います。	本市では、職員採用試験の実施にあたり、身体障害者を対象とした試験区分を設けるとともに、非常勤職員につきましても、職種により身体障害者枠を設けた上で採用試験を実施したことがあるなど、障害者の雇用促進に取り組んでおります。 現在のところ、知的及び精神障害者を対象とした試験区分は設けておりませんが、ご指摘いただきました障害者枠の拡大につきましては、引き続き検討してまいります。	2016/5/27	2016/7/5	人事課
街かどデイハウスの拡充停滞について	「街かどデイハウス」の拡充方針が出されたにも関わらず、平成25年度の10軒目の開設から増設が見られません。何か事由があるのでしょうか。	本市では、平成26年度以降も毎年度、街かどデイハウスの増設に向けて、「枚方市街かどデイハウス事業補助事業候補者の募集」を行っておりますが、当該募集に対して選考基準の要件を満たす応募者がおられないことから、街かどデイハウスの増設には至っておりません。	2016/8/15	2016/8/17	長寿社会推進室
福祉用具の交付申請手続きについて	下肢装具と車椅子のサイズが合わなくなってきたため、新しいものの交付申請を市に行くことになりました。先に装具をつくり、その後、車椅子をつくるため、別々の申請になります。同時に申請できず自己負担額が大きくなります。もう少し融通のきく制度にしてほしいです。	補装具費支給制度につきましては、厚生労働省が定めている補装具費支給制度の概要に基づき運用しております。従って申請が別の日であっても同一の月の申請であれば、自己負担月額上限額を超える自己負担額は発生しませんが、補助対象額を超えた額については、全額自己負担になります。また、申請する月が変われば、新たに自己負担が発生いたします。なお、車椅子と下肢装具を同時に申請した場合であっても、作製過程で寸法の変更等、問題が生じた場合には担当部署までご相談ください。	2016/8/29	2016/9/15	障害福祉室
福祉バスの台数について	交通手段として、福祉バスを利用したく市役所に使用申請しましたが、先客があり使用できませんでした。定期的に活動するため、福祉バスの台数を増やしてください。	福祉バスの台数増加については、車両代や運転手の人件費など、多額の費用を要することから、すぐに対応することは困難であり、台数を増加する必要性等についても考慮する必要があります。時期によっては、利用希望が重なってしまう場合がありますので、可能な限り早めの予約手続きを行っていただきますようお願いいたします。	2016/9/23	2016/9/28	福祉総務課
高齢者外出支援カードについて	平成28年度の高齢者外出支援カード(スルッとKANSAI Kカード)の利用にかかる手続きに交付申請書が必要になりましたが何故ですか。	平成28年度については、これまでのように京阪バスの営業所で、高齢者外出支援カード「高齢者スルッとKANSAI Kカード」を購入することができません。そのため、枚方市内の京阪電車の各駅の券売機で購入いただいた後、市の負担分を入金させていただくため交付申請書が必要になっております。「スルッとKANSAI Kカード」で、補助を受ける対象の方は、お手続きをお願いいたします。	2016/9/27	2016/9/27	長寿社会推進室
妊娠前の検査費用について	妊娠を希望しているため婦人科を受診したところ、ホルモン検査や卵管造影検査等をすすめられました。診療費用に加え検査費用が高額で、金銭的にも精神的にも負担を感じています。妊娠前の基本的な検査費用の補助について検討をお願いします。	本市では、妊娠・出産への支援事業として、平成26年度より特定不妊治療(体外受精及び顕微授精)や不育症治療の費用の一部助成を行っています。平成28年1月20日からは、国の制度に準じて、特定不妊治療の対象の拡充を図ってまいりました。妊娠前検査を含む不妊治療等への助成につきましては、市独自で助成対象の拡充を行うには難しさがあるのが現状ですが、いただいたご意見を参考にさせていただきながら、国の動向を注視し今後の課題とさせていただきます。	2016/11/7	2016/12/7	保健予防課

高齢者外出支援カードについて	市では高齢者の外出支援として「スルッとKANSAI Kカード」等の購入補助をされていますが、Kカードの取り扱い終了後は、ICOCAカードを利用した支援としてはいかがでしょうか。	平成28年度については、スルッとKANSAI Kカードを3000円以上購入された方に対して500円キャッシュバックすることとしていますが、当該カードが発売終了になること及び磁気カードの取り扱いが縮小していくことが見込まれるため、現在の高齢者外出支援カード配付事業は今年度で終了します。来年度からの事業については、現在、検討中です。新たな事業内容については、広報ひらかたやホームページでお知らせします。	2016/12/6	2016/12/8	長寿社会推進室
喫煙スペースの設置について	国・府・市は禁煙を推進しながら、喫煙スペースを提供しているのは納得できません。枚方市役所の喫煙スペースは、入口のドアが開く度に煙などが入るため、入口付近に設置していることにも疑問を感じています。	本市では、市施設における指定の場所以外での喫煙を禁止するとともに、来庁される市民の方への分煙対策として喫煙スペースを設置しております。また、道路や公園等の公共スペースでの歩きタバコを禁止するとともに、枚方市駅と樟葉駅周辺を路上喫煙禁止区域に指定し喫煙を禁止しております。今後も、喫煙者のマナー向上のための啓発や受動喫煙の防止に取り組んでまいります。併せて、本庁舎別館1階の喫煙スペースのあり方につきましても検討を行ってまいります。	2016/12/16	2017/1/26	総務管理課 保健企画課 環境保全課
がん検診について	テレビで、1滴の血液で10種類のがんの診断が可能になると知りました。レントゲンやMRI、内視鏡など様々な検査がありますが時間も費用もかかります。3分ほどで結果が分かるというこの検査方法を枚方市でも採用してほしいです。	ご意見いただきましたがん検診は、国立がん研究センターや企業が共同して、2014年から2018年にかけて実施している検査システムの開発研究であり、今後、有効性が認められ国が推奨する場合は、枚方市としても導入の検討をしていくことが考えられます。 現在、枚方市のがん検診はガイドラインで定められ、また死亡の減少などの有効性が認められた、国が推奨する検診を中心に行っております。	2017/1/11	2017/1/12	保健センター
子どもの医療費助成について	子ども一人あたりの医療費が1ヶ月2500円を超えた場合、申請することで超えた額を市が負担していただけるとありますが、助成の対象を一家庭あたりにしていただくと二人目以降の子どもも育てやすくなり助かります。	本市の「一部自己負担額償還制度」は、一人あたり1ヶ月の間に自己負担額が合計2500円を超えた場合、その超えた分を申請により払戻しを行っているもので、大阪府の乳幼児医療制度に沿った取り扱いをしております。子育てを行ううえで、特に子育て世代の経済的負担が大きいことから、これを軽減し、安心して医療を受けていただくことは大変重要なことと認識しております。今後も安心して楽しく子育てできるまちの実現に向けて、子育て支援の取り組みを進めてまいります。	2017/1/18	2017/2/2	医療助成課
高齢者の外出支援について	高齢者の外出支援事業は、「スルッとKANSAI Kカード」の発売終了後も、新たな支援を続けてください。	平成29年度以降の高齢者の外出支援については、多角的な手法等を検討してまいります。なお、経過措置として2年間に限り、交通系ICカードを活用した公共交通機関の運賃助成を行います。	2017/2/14	2017/3/10	長寿社会推進室
難病患者の就労支援について	指定難病にかかっていますが、症状も治まっており就労可能な状況ですが、正社員として採用されにくいように感じています。難病患者は、「障害者雇用制度」の雇用人数に数えられず、中途半端な状況です。「指定難病患者雇用制度」を枚方市の条例で作っていただけないでしょうか。	平成23年に「障害者基本法」が改正され、障害者の定義に難病患者も含まれたところですが、難病患者の方は障害者手帳所持者に比べますと、制度やサービスにおいて遅れている点があることは認識しております。「障害者雇用促進法」において、障害者雇用率が未達成の企業に対しては「障害者雇用納付金」が課せられていますが、法定雇用率達成企業の割合が半分にも満たないのが現状です。このような状況を鑑みますと、本市独自で「指定難病患者雇用制度」を条例制定した場合においても、障害者雇用率に算定されない難病患者の方の就労について、効果は非常に限定的であると思われます。本市としましては、雇用側に対して障害者のみならず難病患者の方の特性等について啓発、周知を行うなどして雇用促進を図ってまいります。	2017/3/3	2017/3/17	障害福祉室
ひらかた体操について	ひらかた体操は、高齢者だけを対象にするのではなく、枚方市民全体に普及しなくては意味がないのではないのでしょうか。	ひらかた体操は、高齢者が介護予防活動に取り組むひとつの媒体として作成されました。昨年6月には、ラジオ体操第1、ロコモ体操、ひらかた体操を組み合わせた「ひらかた元気くらわんか体操」を作成し、地域での介護予防活動の推進・普及を13の地域にある地域包括支援センター等と協力体制を組み進めています。このような取り組みを高齢者中心の活動グループから始め、地域行事等の世代間交流の場において「ひらかた元気くらわんか体操」を活用いただくことによって、世代を越えて地域活動の広がりになることと考えます。今後は、「高齢者中心」から「高齢者とともに」地域で普及していく方向性を加えてまいります。	2017/3/30	2017/3/31	長寿社会推進室